干柿		
	渋柿の干さるるごとき心もち	2012.10.22
	渋柿の渋の干さるる心もち	2026.11. 6
	渋柿の干さるる渋の心もち	
	干柿の干さるる渋の心もち	
	干柿の内なる渋の心もち	
■	干柿の内なる渋の行方かな	
■	干柿の連なるままを送りくれし	2015. 8.30
■	干柿は星が綺麗な夜に干す	2015. 8.30
	干柿を星が綺麗な夜に干す	2017.12.26
	干柿は星がきれいな夜に干す	2026.11. 3
■	干柿はほしがきれいな夜に干す	
	干柿をほしがきれいな夜に干す	
■	干鮭は辛く干柿は甘く	2015.10. 9
	干柿も西日も強き風の中	2018. 2. 2
	干柿に遠き西日となりにけり	
	干柿に西日は遠く離れ行く	
	干柿や遠き西日に照らされて	2026.11. 3
■	干柿を照らす西日の遠日かな	
	干柿に西日も弱くなりにけり	
	干柿や淡き西日に照らされて	2026.11. 5
	干柿に西日も淡くなりしかな	
■	干柿を照らす西日の既になし	2026.11. 6

干柿		
	剥かれたる裸の柿の干されある	2018. 5.25
	剥き終へて裸の柿を軒下に	
	剥き終へし裸の柿を軒下に	
	剥き終へし裸の柿を軒に吊る	
	軒下に裸の柿の干されある	
	軒下に裸の柿の吊されて	2018. 5.26
	軒下に裸の柿の吊しある	
	軒下に裸の柿の吊られある	
	軒端には裸の柿の吊られある	2018. 5.28
	軒深く裸の柿の吊られある	
	軒ふかく裸の柿の吊られある	
	錆釘に裸の柿の吊られある	
	錆釘に裸の柿を吊しけり	
	錆釘に柿の裸を吊しけり	
	古釘に柿の裸を吊しけり	2018. 5.29
	古釘に柿の裸を吊しおく	2026.11. 6
	古釘に吊して柿の丸裸	2026.11. 7
■	古釘に吊すや柿の丸裸	
	母屋まで取られさうなる軒の柿	2018.10.27
	母家まで取られさうなる柿襖	
■	干柿に軒を貸したる母屋かな	
	干柿に憧れてゐる熟柿かな	2019.11.20
■	干柿は軒に熟柿は枝にかな	2020. 1.29
	干柿は軒に熟柿は枝に垂れ	2020. 5.17
■	干柿に再び皮の如きもの	2022.10. 9
	食べられるまで干柿の眺めかな	2022.10. 9
	食べられるまで干柿の良き眺め	
	食べられるまでの色々吊し柿	2022.10.10
	食べられるまでの日数を吊し柿	
	吊し柿まだ食べられぬ眺めなり	
	吊し柿まだ食べられぬ朱さなり	
	吊し柿まだ生柿の朱さなり	
	吊し柿まだ明るくて食べられぬ	
	吊し柿まだ生柿といふ朱さ	
■	明るくてまだ食べられぬ吊し柿	
	吊し柿まだ生柿といふ硬さ	2026.11. 4
■	食べられるまでの眺めや柿簾	2026.11. 6
■	干柿のまだ生柿といふ硬さ	2026.11. 7

干柿		串に刺す団子の如き吊し柿	2022.10. 9
		串刺しの団子の如き吊し柿	2026.11. 3
		串刺しの団子の如く柿を干す	
		串刺しの団子の如き柿簾	2026.11. 5
		串刺しは団子にも似て柿簾	
		串刺しは団子に似たり柿簾	
		串刺しの玉の如きを柿簾	
		日を浴びて玉の如きを柿簾	2026.11. 6
		剥きたての玉の如きを柿簾	2026.11. 7
		吊し柿日々に色濃く縮むなり	2022.10.10
		柿干せば日々に色濃く縮むなり	2026.11. 3
		干柿の日々に色濃く縮むなり	2026.11. 6
		その下に干柿の皮干されある	2022.10.16
		縁側に干柿の皮干されある	
		干柿の皮もまとめて干されある	
		干柿の皮も近くに干されある	
		渋柿の皮も近くに干されある	
		柿簾一段外す今宵かな	2022.10.16
		柿簾一段外す食後かな	
		柿簾一段外す夕餉かな	2026.11. 5
		夕食に一段外す柿簾	
		縁側の積木ままごと吊し柿	2026.11. 3
		縁側や積木ままごと吊し柿	2026.11. 7
		たましひは甘く重たく柿を干す	2026.11. 3
		たましひは甘く重たく吊し柿	
		干柿は甘くて重したましひも	
		干柿は甘くて重し魂も	2026.11. 4
		干柿を送る新茶のお返しに	2026.11. 4
		干柿を送る新米の段ボール	
		柿を捥ぎ剥いて繋げて干しにけり	2026.11. 4
		柿を捥ぎ剥いて繋げて干し連ね	2026.11. 5
		柿を捥ぎ剥いて繋げて干して食ふ	2026.11. 6
		この家の結界となせ柿簾	2026.11. 7
		この家の赤き結界柿簾	
		この家の朱き結界柿簾	